



一般社団法人 静岡県安全運転管理協会



各地区協会の活動紹介

(掛川・清水・富士・裾野・静岡中央・細江)

「交通死亡事故現場診断」を実施！（3 1 年 1 月中）

掛川、清水、富士、裾野、静岡中央、細江地区安全運転管理協会は、それぞれの地区内で発生した交通死亡事故の再発防止を期して、この1月中に管轄警察署の「交通死亡事故現場診断」に参加し、これからの対策等を協議しました。

【掛川地区】

1月9日(水)、掛川警察署、掛川市役所、交通安全協会、地域交通安全活動推進委員等の関係機関・団体とともに、同地区安全運転管理協会から役員及び推進事業所安全運転管理者等が参加、合計20人により

12月30日(日)掛川市千羽地先の県道で発生した交通死亡事故
(軽四乗用車と普通乗用車との衝突事故、軽四乗用車運転の85歳男性が死亡)
の事故現場診断を行いました。

この事故現場の道路はカーブしており、現場診断で協議した結果、

- センターラインなどの道路標示が薄く、ラインの引き直しを検討
- 運転者がスピードを出さないよう、カーブ地点に注意看板を設置

など交通死亡事故の再発防止対策に関する意見が出され、今後の交通安全活動に反映させることとしました。



【現場診断のようす】

【清水地区】

1月10日(木)、清水警察署の呼掛けで、清水区役所、交通安全協会、自治会等の関係機関・団体及び清水地区安全運転管理協会から副会長・事務局長ら合計約30人が参加して、

1月4日(金) 静岡市清水区袖師町地先の港湾道路で発生した交通死亡事故
(中型貨物車と歩行者との衝突事故、歩行者の37歳男性が死亡)
の事故現場診断を行いました。

事故現場は片側2車線の見通しの良い直線道路であるが、事故当時は日の出前で暗く、交通量も多い箇所であったため、

○ 速度減速等の注意看板を設置する

○ 夜間はハイビーム活用で歩行者の早期発見を広報啓発する

など、事故防止対策に関する意見が出されました。



【事故現場の状況】



【現場診断】



【再発防止対策を協議】

【富士地区】

1月16日(水)、富士警察署の呼掛けで、富士市役所、交通安全協会、土木事務所、老人クラブ等関係機関・団体及び富士地区安全運転管理協会から役員や現場周辺事業所の安全運転管理者ら合計20人が参加して、

12月18日(火)富士市大淵地先の県道大坂富士宮線で発生した交通死亡事故(軽四乗用車を運転中に道路脇の樹木へ衝突した単独事故、86歳男性が死亡)に対する事故現場診断を行いました。

この事故現場は、進行方向から見て下り坂の右カーブで、左側の道路外へ逸脱しているため、事故現場診断の参加者から

○ カーブ予告標識、路面標示、ガードレール、街路灯、側溝蓋等の設置

○ 周辺住民に対する交通安全広報を実施

など、ハード、ソフト両面の事故防止対策について活発な意見が出されました。

【事故現場診断】



【再発防止対策を協議】

【裾野地区】

1月17日(木)、裾野警察署の呼掛けで、裾野市役所、交通安全協会、土木事務所等関係団体及び裾野地区安全運転管理協会から会長ら約10人が参加して、
12月18日(火)裾野市深良地先の県道沼津小山線で発生した交通死亡事故(普通貨物車と原付バイクが出会い頭に衝突、原付バイクの72歳女性が死亡)に対する事故現場診断を行いました。

この事故現場は、T字路交差点で出会い頭に衝突しており、交差点付近の道路標示が薄くなり見えにくくなっているため、事故現場診断の参加者から

○ 交差点手前から道路標示が薄く見えにくいため、引き直しが必要

○ 通行車両、歩行者、周辺住民への注意喚起として、注意看板を設置など、事故防止対策について活発な意見が出されました。



【事故現場診断】

【再発防止対策を協議】



【静岡中央地区】

1月28日(月)静岡中央警察署の呼掛けで、静岡市葵区役所、交通安全協会、地元自治会等関係団体及び静岡中央地区安全運転管理協会から会長や電柱衝突のため中部電力の安全運転管理者など合計24人が参加して、

1月5日(土)静岡市葵区瀬名二丁目地先の市道で発生した交通死亡事故(軽四乗用車が電柱に衝突した単独事故、軽四乗用車運転の50歳女性が死亡)に対する事故現場診断を行いました。

この事故現場は、進行方向手前が右カーブになっており、道路脇左側の電柱に単独で衝突しているもので、事故現場診断の参加者から

- 電柱に衝突しているため、直接電柱に反射材を設置
- 手前カーブの道路標示が薄くなっているため、標示の引き直し
- 夜間は暗闇となるため、街路灯の設置

など、事故防止対策について活発な意見が出されました。

【事故現場診断】



【再発防止対策を協議】

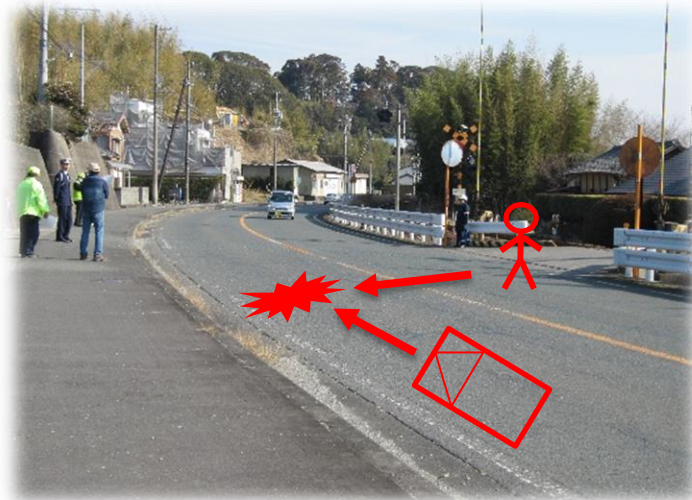
【細江地区】

1月30日(水)、細江警察署の呼掛けで、北区役所、交通安全協会、自治会等関係団体及び細江地区安全運転管理協会から役員が出席、計20人が参加して、
1月11日(金)浜松市北区都田町の国道362号線で発生した交通死亡事故(普通乗用車と道路横断中の歩行者との衝突事故、歩行者の89歳男性が死亡)に対する事故現場診断を行いました。

この事故現場はT字路交差点で、直線道路を横断しようとした歩行者と普通乗用車が衝突しており、また夕方に発生しているため、事故現場診断の参加者から

- 信号機を設置して交通の流れを調節し、速度が出ないように措置
- 運転者にはハイビーム、高齢者等歩行者には反射材着用を広報啓発

など、事故防止対策について活発な意見が出されました。



【事故現場の状況】



【事故現場診断】



【再発防止対策を協議】